

厚生労働科学研究費補助金事業

最高質安全責任者 CQSO

Chief Quality & patient Safety Officer

養成事業

募集要項

第8期(2026年度)



国立大学法人東海国立大学機構
名古屋大学医学部附属病院
患者安全推進部

最高質安全責任者 CQSO 養成事業 募集要項

1. 研修のねらい

本研修は、患者安全活動を下図のようなループとして捉え、主に以下の項目の達成を企図して準備されています。

- 1) 患者安全に関する基盤知識を修得し、インシデント報告のトリアージなど、日々の業務を管理することができる。
- 2) 事故発生時の対応など、有事業務に成果を上げることができる。
- 3) 品質管理手法を用いて、平時の改善活動に成果を上げることができる。
- 4) 患者安全に関する周辺業務を理解し、挑戦的・新規的知識を修得する。
- 5) 医療機関のリスク量を低減し、実際に患者の安全を確保できる。



2. 最高質安全責任者 CQSO 養成プログラムの主な内容

7 カテゴリー/約 150 時間となります。

- ・問題解決実践^{*}では、問題解決 8 ステップで所属機関の抱える問題に取り組む
- ・ワークショップ、ディスカッション、OJT (On-the-Job Training) が中心の参加型研修が主体

カリキュラム一覧

| カテゴリー | 教科目 | 時間 | 総時間 |
|---------------|--|------|-------|
| 基盤となる知識の修得 | 本研修が目指すもの | 1 | 17.25 |
| | 医療安全施策の動向 | 0.75 | |
| | エラー発生の原因 | 2 | |
| | 医療の高度化、複雑化とエラー発生 | 1 | |
| | 患者安全における法的知識の整理 | 2.5 | |
| | 名大病院における患者安全推進活動と JCI (Joint Commission International) | 1.5 | |
| | 基本確認行動・国際患者安全目標・対策の基本 | 3 | |
| | 患者の権利の確保～インフォームド・コンセント～ | 2 | |
| | クリニカル・ガバナンス (前半) ～医療の規律と起立～ | 3.5 | |
| 日々の取り組み | 報告文化の活性化 | 2 | 16 |
| | インシデント・トリアージの考え方 | 3 | |
| | リスク量測定 | 1 | |
| | 医療過誤を鑑別する | 4 | |
| | 患者安全管理者の業務 患者安全推進部プレコア会議 準備 | 1 | |
| | 患者安全管理者の業務 患者安全推進部プレコア会議 | 3 | |
| | 患者安全管理者の業務 患者安全推進部コア会議 | 1 | |
| | 患者安全管理者の業務 パイシエントセーフティマネジャー全体会議 (Web) | 1 | |
| 有事の取り組み | 事故発生時の連携 | 3 | 31.5 |
| | 事例の医学的判断 -場面とプロセス・分析ポイントの整理- | 1.5 | |
| | 重大死亡事故発生時における医療事故該当性の判断① | 2 | |
| | 重大死亡事故発生時における医療事故該当性の判断② | 2 | |
| | 標準的医療事故調査手法の修得 | 15 | |
| | 医療事故調査の標準化に向けて | | |
| | 事例を重要な診療場面に分ける | | |
| | ヒアリング手法 | | |
| | ヒアリング内容の抽出と実演 | | |
| | 事実経緯の整理・同定 | | |
| | 同定結果から事実経緯の評価 | | |
| | 事件事例の総括 | | |
| | 再発防止策の提案 | | |
| | 患者説明・社会との共有 (説明) | | |
| | 患者説明・社会との共有 (記者会見・まとめ) | 1.5 | |
| オープンディスクロージャー | 1 | | |
| 有事対応課題発表 | 3.5 | | |

| カテゴリー | 教科目 | 時間 | 総時間 |
|-------------------------------|---|------|-------|
| 平時の取り組み (1) 改善のための連携・分析 | RCA(Root Cause Analysis)手法 | 6 | 35.5 |
| | 患者安全に関する外部情報の活用 | 2 | |
| | 医療機器の安全管理と CEGRM への期待 | 1.5 | |
| | 医療機器安全管理責任者の役割(医療機器安全管理責任者との連携) | 1.5 | |
| | メーカーとの連携 | 1.5 | |
| | 医薬品安全管理責任者との連携 | 2 | |
| | 卒後教育プログラム責任者との連携 | 2 | |
| | 院内の安全教育体制の構築 | 2 | |
| | チームステップス (アドバンストコース) 研修 | 1.5 | |
| | FMEA(Failure Mode and Effects Analysis)手法 | 4 | |
| | 院内救命、異常早期発見体制の構築 | 1.5 | |
| | 事例検討会の運営 | 3 | |
| | 患者安全ラウンド・監査 | 3 | |
| | 施設安全の重要性 | 2 | |
| | 医療情報との連携 | 1 | |
| IPSG.1+2 研修 | 1 | | |
| 平時の取り組み (2) 標準化と品質管理 | 品質管理概論 | 4 | 35.75 |
| | トヨタ実践 TQM (Total Quality Management) | 1.75 | |
| | 品質管理手法の修得 (概論) | 3 | |
| | 品質管理手法の修得 (実践) | 3 | |
| | 問題解決実践※ | 17.5 | |
| | 問題解決実践：テーマ選定 (第1回) | | |
| | 問題解決実践：現状把握 (第2回) | | |
| | 問題解決実践：要因解析 (第3回) | | |
| | 問題解決実践：中間発表 (第4回) | | |
| | 問題解決実践：中間発表 Feedback (第5回) | | |
| | QI(Quality Indicator)と QI 設定 | 1.5 | |
| | QI 設定演習 | 1 | |
| 質向上戦略の構築 | 2 | | |
| クリニカルパスによる質向上 | 2 | | |

| カテゴリー | 教科目 | 時間 | 総時間 |
|--------------|--|------------|------|
| 周辺業務の理解 | 感染制御との連携～アウトブレイクを中心に～ | 2 | 8.5 |
| | 倫理的諸問題を考える | 2 | |
| | 医療現場における患者の問題行動 | 1.5 | |
| | 患者と医療者・対話推進業務の理解 | 3 | |
| 挑戦的・新規的知識の修得 | 院内弁護士の活動 | 2 | 13.5 |
| | 診断エラーの制御 | 2 | |
| | Disruptive behavior | 1 | |
| | カルテは誰のものか・PX(Patient Experience)を安全に活かす（前半・後半） | 2 | |
| | 群大病院事故が医療現場に投げかけた 10 の課題 | 1 | |
| | クリニカル・ガバナンス（後半）～困難な医療者への対応～ | 2.5 | |
| | フリーディスカッションと知の創出 | 3 | |
| 総研修時間 | | 158 | |

| | | | |
|------------------------------|---|---|--------------|
| 任意研修 希望者のみ・無料 | 日程・申込方法は開講後にお知らせ 患者安全管理者の業務 患者安全推進委員会（Web） | 1 | |
| オプション研修 希望者のみ・別途有料 | 2027年1月16日・申込方法は開講後にお知らせ 品質管理手法の修得 実践・QC七つ道具（対面） | 3 | 研修費 5000円 |

3. 受講要件・応募資格

下記の1)～4)の要件をすべて満たしている者

- 1) 医師・歯科医師。※医療安全養成研修の受講は問いません。
- 2) 医療安全業務に従事している、または従事予定であることが望ましい。
- 3) 所属医療機関長の推薦を得ていること。
- 4) 修了後、所属医療機関としてハブセンター事業に参画できること。

4. 募集定員 10名程度（書類選考あり）

5. 選考基準

- 1) 所属医療機関において本研修プログラムを完了できる業務環境を調整できること。
- 2) 本研修事業の効果測定^{*1}、評価に協力できること。
- 3) 本研修修了後、所属医療機関において患者安全管理・質改善業務に主体的に従事できること。
- 4) 本研修修了後、所属医療機関としてQS0支援事業^{*2}に参画できること。
- 5) 各医療機関からの参加は、原則、各期1名までとする。
- 6) 所属医療機関長からの推薦内容を重視する。

※1 本研修事業の効果測定について

- ・研修前後など適切なタイミングで、アンケート、インタビューを実施します。
- ・適切なタイミングで、所属医療機関のインシデントレポートからリスクスコアを算出し、提出して頂きます。

※2 QS0支援事業について

- ・継続的に修了生および所属医療機関をつなぐネットワーク事業です。
- ・修了生が自らの所属医療機関において、医療におけるリスクを低減できるよう支援します。

6. 実施機関及び会場

実施機関：国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部
会場：名古屋大学医学部附属病院 会議室等（詳細は別途連絡）

但し、場合によってはオンライン講義となる場合がある

10月3日（土）、10月4日（日）は、テルモメディカルプラネックス®（神奈川県足柄上郡）での外部研修予定

7. 研修期間

- ・2026年9月15日（火）～2027年3月12日（金）のうち26日間

| | |
|-------|--|
| 第1クール | 2026年09月15日(火)～09月18日(金)の4日間 |
| 第2クール | 2026年10月02日(金)～10月06日(火)の5日間 |
| 第3クール | 2026年10月20日(火) Web 2026年10月27日(火)～10月30日(金)の4日間 |
| 第4クール | 2026年11月18日(水)～11月20日(金)の3日間 |
| 第5クール | 2026年12月15日(火)～12月18日(金)の4日間 |
| 第6クール | 2027年02月02日(火)～02月04日(木)の3日間 |
| 第7クール | 2027年03月11日(木)～03月12日(金)の2日間 |

- ・2027年6月12日（土）成果報告会・修了式

8. 研修修了要件

- ・研修の各教科目の所定の時間数のすべてに出席していること。
ただし、やむを得ない欠席の場合、担当講師と事務局の指示に従う。（課題の提出、または、次期の同科目、指定した科目の受講をもって研修修了とする等※。）※振替授業等は有料になります。
- ・以下の要件を満たすこと。

| 項目 | 要件 |
|--------------|--|
| 問題解決実践 | ・中間報告・成果報告シートの作成と提出および発表 |
| 有事対応課題 | ・有事対応課題の発表資料の作成と提出および発表 |
| 問題解決実践以外の教科目 | ・受講前後の目標到達度評価 ・アンケートの提出 ・研修前後のルーブリック評価 |

※場合によって、オンライン受講にて出席を認定することもある。
（現地参加でないと修了とみなすことが難しい教科目もある。）

9. 研修により付与される修了証

- 1) 最高質安全責任者修了証
- 2) 医療安全管理者養成研修修了証
 - 1) および2) は、成果報告をもって交付する。

10. 受講料 120万円（税込）※受講料に交通費、宿泊費は含まれません。

1 1. 申込方法

①事前準備



ホームページから募集要項・出願書類をダウンロード

②申込登録



ホームページから申込登録

2026年5月1日（金）10時～6月30日（火）10時

※申込登録だけでは、申し込みしたことにはなりません。

③出願書類の提出先の URL を取得



1 営業日を経過しても URL が届かない場合は、
募集要項の最終項の連絡先にご連絡ください。

④出願書類をアップロード

2026年5月1日（金）10時～7月1日（水）15時

※出願書類の提出をもって申込が完了となります。

① 事前準備

募集要項をホームページよりダウンロードし、内容をご確認ください。

出願書類は以下になります。

様式1～5は、ホームページよりダウンロードしてください。

- (1) 履歴書（様式1）
- (2) 受講承諾書（様式2）
- (3) 推薦状（様式3）
- (4) 志望動機と修了後の展望（様式4）
- (5) 所属医療機関の体制（様式5）
- (6) 医師・歯科医師免許証（写 A4 サイズに縮小）

出願書類は、出願者本人が作成する書類、所属長が作成する書類があります。

早めに準備してください。

② 申込登録（2026年6月30日10時まで）

ホームページの申込登録より、必要事項を入力し登録を行ってください。

登録には、メールアドレスが必要になります。

※申込登録だけでは、申し込みしたことにはなりません。出願書類の提出をもって申し込みが完了となります。

③ 出願書類の提出先の URL を取得

申込登録の確認作業終了後に、事務局より出願書類の提出先の URL をお送りします。

※1 営業日を経過しても URL が届かない場合は、募集要項の最終項の連絡先にご連絡ください。

④ 出願書類をアップロード（2026年7月1日15時まで）

取得した URL よりアクセスして、出願書類をアップロードしてください。

※出願書類の提出をもって申し込みが完了となります。

1 2. 選考結果の通知

書類選考の結果は2026年7月9日（木）までに応募者宛にメールで通知します。

※やむを得ない事情により受講を辞退する場合は、通知結果に関わらず速やかに申し出てください。

※選考結果のメールが届かない場合は、2026年7月10日（金）までに、メールでお問い合わせください。

1 3. 受講の手続き

1) 選考結果とともに受講手続き等の書類についてメールで通知します。

2) 第1受講手続き期間：2026年7月14日（火）～2026年7月23日（木）

3) 受講料は、第1受講手続き完了後に別途、当院経理課より送付される専用振込用紙にて、振り込みをお願いいたします。

4) 第2受講手続き期間：2026年7月24日（金）～2026年8月31日（月）

1 4. 受講前面談

受講者には、8月下旬に受講前面談を行います。

選考結果の通知の際に日程調整をさせていただきます。

1 5. 抗体検査等結果の提出

受講者には、院内感染対策のため、当院指定の検査、必要時ワクチン接種証明の提出をお願いしています。各施設で実施している検査方法と異なる場合は指定検査を行っていただく必要があります。

選考結果通知とともに検査項目等をご案内いたしますので、詳細を必ずご確認ください。

1 6. 事前受講研修

当カリキュラムには、チームステップス（アドバンストコース）研修があります。そのため、事前にチームステップス（導入コース）研修の受講が必要となります。

選考結果の通知の際に、当院で開催されるチームステップス（導入コース）研修の日程をご案内しますので、必ず受講してください。

既に自施設等でチームステップス（導入コース）研修を受講済みの方は、再受講の必要はありませんが、受講証明書のコピーを提出していただきます。

1 7. オプション研修

品質管理手法の修得（実践）の有料補講を予定しています。開講後に申し込みをご案内いたします。

【研修概要】

日 時：2027年1月16日（土）9:00-12:00

対象者：CQSO/EQSO/AQSO（問題解決コース）受講生のうち希望者、

CQSO/EQSO/AQSO 修了生のうち希望者

費 用：5000円（税込）

会 場：名古屋大学医学部附属病院 会議室等（詳細は別途連絡）

1 8. QSO 支援事業

最高質安全責任者 CQSO プロジェクトでは、養成事業修了後の支援事業の一つとして、取り組んだ問題解決実践のその後の経過・成果のフォロー研修を実施しています。日程は、決まり次第お知らせいたします。

・第1回フォロー研修会：2027年12月予定

・第2回フォロー研修会：2028年12月予定

個人情報取り扱いについて

申し込み及び受講手続きにあたって提出していただいた個人情報は、受講者選考・その後の学習支援等以外の目的で使用することはありません。

出願書類は返却しませんので、あらかじめご了承ください。

<問い合わせ先>

出願に関するお問い合わせはメールでの連絡をお願いいたします。

名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部 ASUISHI/QSO 事務局

メールアドレス：hrc.jimu@med.nagoya-u.ac.jp

問い合わせ時間：月曜日から金曜日 9時～16時